株式会社LSIメディエンス
INFORMATION
臨床検査事業
Vol.18-23 C-05
発行 平成 30年 5月
当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(http://www.medience.co.jp/)よりPDF形式にてダウンロードできます。

「微生物検査」検査結果報告様式変更のお知らせ

拝啓　時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、下記項目につきましては、現在、好気ボトルおよび嫌気ボトルから同一菌種が同定された場合、それぞれの菌に対して感受性検査を実施してご報告しています。

今般、1患者の好気・嫌気ボトルから同一菌種が同定された場合、1菌種としてご報告し、感受性の結果が異なれば2菌種としてご報告する運用形態に変更させていただきます。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

対象項目

- 血液培養検査

変更期日

- 平成30年6月1日(金)ご報告分より

株式会社LSIメディエンス
〈本社〉〒101-8517　東京都千代田区内神田1-13-4
THE KAITEKI ビル
インフォメーション　TEL. 03-5994-2111
http://www.medience.co.jp/

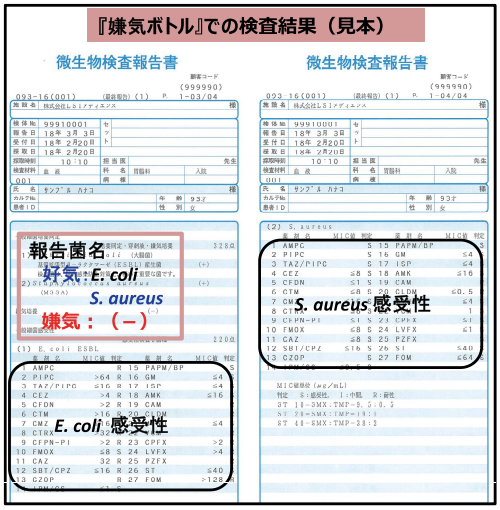
総合検査案内アプリ iPhone 用はこちら
総合検査案内アプリ Android 用はこちら

血液培養検査

現在の報告形態

好気ボトルおよび嫌気ボトルから同一菌種が同定された場合、それぞれの菌に対して感受性検査を実施してご報告しています。

添付報告書（見本）は、好気ボトルの結果が好気：*S. aureus*　嫌気：（－）の場合と嫌気ボトルの結果が好気：*E. coli*　*S. aureus*　嫌気：（－）の報告例で、それぞれの感受性結果をご報告しています。



変更後の報告形態

6月1日ご報告分より、1患者の好気・嫌気ボトルから同一菌種が同定された場合、1菌種としてご報告し、感受性の結果が異なれば2菌種としてご報告する運用形態に変更致します。

同一菌種とはコロニー形態が同等のものを指し（コロニー形態を比較）、差が認められた場合は異なる菌種と判断して、両方の感受性を実施、感受性の結果が同じであれば1菌としてご報告、異なれば2菌としてご報告致します。

また、同一菌種と判断され感受性検査の結果を1菌種としてご報告する場合、下記のコメントを検査報告書に印字してご報告致します。

『好気、嫌気ボトルから同一菌が検出された為、感受性検査省略しました。』

● 補足事項

【コロニー形態に差があるもの】

好気と嫌気の感受性検査を実施します。両ボトルの感受性結果が同じ場合は、先に発育・同定された菌に対して感受性が報告され、後に発育・同定された菌に対して「省略コメント」を付記してご報告します。なお、両ボトルの感受性結果が異なる場合は、各ボトルの結果を報告書に印字してご報告致します。

【コロニー形態に差がないもの】

先に発育・同定された菌に対して感受性をご報告し、後に発育・同定された菌に対して「省略コメント」を付記してご報告致します。